

大企業監視団体「エコー」のトランプのベネズエラ攻撃に対する抗議活動

脇浜義明訳

トランプはベネズエラに侵攻し、現職大統領を拉致し、同国の石油事業掌握を宣言した。

シェブロンは現在ベネズエラで操業する唯一の米国系石油企業であり、絶大な影響力を有する。現時点ではトランプの計画を公に支持していないが、状況は変わる可能性がある。

この侵略がエスカレートするのを止めるためのわずかな機会が、まさに今この瞬間に存在している。

シェブロンに伝えよう：ベネズエラの主権を尊重し、トランプの計画を拒否せよ。

署名をお願いします

トランプ大統領はベネズエラに侵攻し、大統領を拉致し、石油事業の乗っ取りを表明しました。

これは麻薬カルテルの阻止や米国の安全保障の問題ではなく、トランプ大統領の飽くことのない貪欲と権力欲の問題です。

幸い今のところ、トランプ大統領が米国の化石燃料大手がベネズエラの石油インフラを「整える」と主張したけれど、それに応えると手を上げた大手企業はいません。ベネズエラで現在操業している唯一の米企業はシェブロンです。シェブロンがどう対応するかで、ベネズエラの主権が終焉するか、トランプの強盗計画を阻止するかのどちらかになります。

トランプ大統領はいつも大言壮語するが、必ずしも実行するわけではありません。この強盗計画はエスカレートする前に、それを民衆の力で終わらせることができます。シェブロンにトランプ計画に乗るなど圧力をかけることによって。

シェブロンへの緊急嘆願書、ベネズエラの主権を尊重し、トランプ計画を拒否せよと要求する嘆願書に署名してください。

まだ未開発のベネズエラの石油埋蔵はドナルド・トランプにとってはドルのシンボルのように見えていますが、石油会社の幹部は必ずしもそう見ているとは限りません。2015年原油価格は20%も下落し、2020年以来最低レベルになりました。供給量を増大することは、トランプが考えているほど石油会社にとって魅力的ではないかもしれません——特にベネズエラの場合はインフラが崩壊していて、修復に巨額の投資が必要になります。

また、軍事侵略に加えて石油掘削と精製に伴う様々な法的規制も、トランプ計画に乗ることを躊躇させるかもしれません。

とはいえ、トランプ効果は強力で、世界中の政府や産業界が彼の貪欲で分断的政治に服従しています。だから、シェブロンやその他の石油会社がトランプ計画への対応を決める前に、国民の大きな圧力を見せることが大切です。シェブロンや他の石油会社に、トランプ計画を拒否せよという国民の声を伝えましょう。

以前にもシェブロンに同じような運動を行って成功したことがあります。シェブロンがミャンマー軍に燃料を供給してクーデターを支援するのに抗議して、株主にも呼びかけ、本社前で抗議活動も行って、最終的にシェブロンはミャンマーから撤退しました。この勝利に学び、トランプからベネズエラを守りましょう。

協力に感謝します。

リーワン、エオイン、ヴァネッサ、ヴィッキー、その他[「エコー」チーム](#)一同